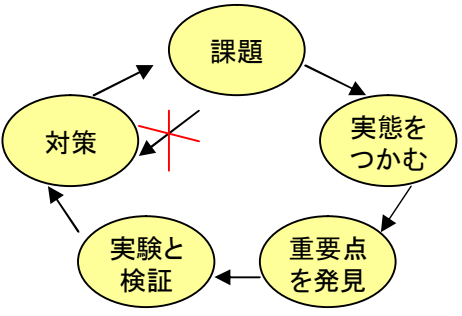
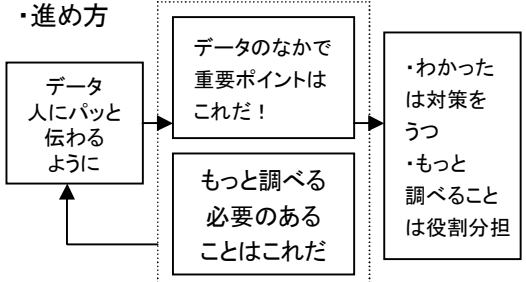


# 課題によるマネジメント(仕事研究)

●事実をつかむ前に、すぐ「対策」を考えないこと。「対策」を思いつくと、事実を知ろうとしなくなる。

<p><b>①目的</b></p> <p>1、<b>知恵</b>を出して仕事をするチーム 2、<b>成果</b>に向かってお互いに力を合わせるチームを育てることで。</p> <p>そのポイントは<b>課題によるマネジメント</b>すなわち「仕事を研究的に行う」ことです。</p>	<p><b>④よい課題の条件</b></p> <p>1、<b>店の成果につながるものであること</b> 2、身近で、自分たちの力で何とかかなりそうなこと 3、「自分たちなりの発見」がありそうなこと 4、人を責めるおそれがあるものは後回し(カラッと明るく行う) 5、何から手をつければいいかが、ほぼイメージできる程度に具体的であること</p>									
<p><b>②仕事研究＝知恵をこめるプロセス</b></p> <p>1、何とかしたいこと(課題)があって 2、実態を調べて 3、重要ポイント(要因または仮説)を見つけて 4、仮説を実験、検証してみても 5、それから工夫を加えた対策を実行する</p>  <p>・疑問を素直に追いかけて、工夫を心がける</p>	<p><b>⑤状況の共有とミーティング</b></p> <p>1、共有の風土づくり →同じレベルで状況をわかり合うこと。 状況を共有することでメンバーは課題を何としてもナントカしたいという「仲間」になれる。</p> <p>2、ミーティングの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データに向かって半円形で座る</li> <li>・メンバーは4、5人が理想</li> <li>・進め方</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったは対策をうつ</li> <li>・もっと調べることは役割分担</li> </ul> <p>・ミーティングをすること、しないこと</p> <table border="1" data-bbox="837 1624 1348 1814"> <thead> <tr> <th>MLしない</th> <th>ミーティングをする</th> <th>リーダーの役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①予測(ヒラメキ)</td> <td>予測に基づいた手を打つことが可能か</td> <td>やるかやらないかの決断</td> </tr> <tr> <td>②調べればわかること</td> <td>事実をつかんで、持ち寄ったデータに対して</td> <td>仮説の選択の決断</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「知っている事実」ではなく「調べた事実」から考えるようにする。</p>	MLしない	ミーティングをする	リーダーの役割	①予測(ヒラメキ)	予測に基づいた手を打つことが可能か	やるかやらないかの決断	②調べればわかること	事実をつかんで、持ち寄ったデータに対して	仮説の選択の決断
MLしない	ミーティングをする	リーダーの役割								
①予測(ヒラメキ)	予測に基づいた手を打つことが可能か	やるかやらないかの決断								
②調べればわかること	事実をつかんで、持ち寄ったデータに対して	仮説の選択の決断								
<p><b>③仕事に知恵をこめるチームのものさし</b></p> <p>ものさし1: 事実に基づいて考えているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実をはっきりつかむこと</li> <li>・重要なポイントを発見すること</li> <li>・仮説をたてて検証すること</li> </ul> <p>ものさし2: 仕事の進め方に変化があったか</p> <p>ものさし3: 業績は前より良くなったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「努力の結果として成果が出る」のではない。「<b>成果をめざすから、何とか努力ができる</b>」のだ。</li> </ul> <p>ものさし4: メンバーは前より元気になったか</p>										